

## 子どもへ『性』をどう伝える？LGBTって？

講師：中谷豊実さん（南山高校・中学校 保健体育科教諭  
愛知思春期研究会共同代表、私学性教育研究会主催）

世話人：小川史穂（瑞穂区保護者） 田中康子（瑞穂区保護者）

### 《テーマ1：子どもへ『性』をどう伝える？》

『性』は、命を産み出すこと、人と人との豊かな関係を育むものです。大切なことだと分かっているけれど、性教育というと「どうやって教えればいいのか？」と困っている人は多くいると思います。また、インターネットでの性に関する情報の氾濫、SNSを通しての性をめぐる様々なトラブルを見聞きすると、不安は大きくなるばかりです。

子どもが、思春期の心身の変化にとまどったり、性への好奇心を持ち始める時期に、大人はどのように関わり、『性』について伝えていけば良いのでしょうか？また、トラブルに巻き込まれないために、どのように見守り、注意していけば良いのでしょうか？学校での性教育の実情や、家庭や学童での子ども達の性に関する事柄を交え、子どもへの『性』の伝え方について考えていきたいと思います。

### 《テーマ2：LGBTって？》

現在、LGBTなどのセクシュアルマイノリティは、小学校の1クラス30人に1～2人の割合で在籍していると言われています。学童に通っている子どもの中にも、セクシュアルマイノリティの子どもがいることを前提として、関わりを持って行く必要があります。日常の中で、何気なく「男らしさ・女らしさ」の枠組みを作っていないでしょうか？また、少しの知識で「LGBTって、〇〇なんでしょ」と分かったような気になっていないでしょうか？

セクシュアリティは、見た目だけで二分されるものではなく、「身体」「心」「好きになる相手」などを組み合わせると、その数は無限大です。セクシュアリティについて考えていくと、「あなたはあなたらしく、私は私らしく、自分らしく生きる」＝「個を互いに尊重する」ということに行き着きます。大人が性の多様性についての理解を深めることが、子どもへの教えに繋がっていくのではないかと思います。

### 《流れ：講座・交流》

- ・テーマ1：子どもへ『性』をどう伝える？（中谷先生のお話、家庭・学童での性に関するあれこれ、トラブルに合わないために）
- ・テーマ2：LGBTって？  
（LGBTの基礎知識、子どもへの性の多様性の伝え方）